

登録コード	HM104100	開講年度	2026				
授業題目	寄生原虫学特論				担当教員	奥山 隆平 他	
英文授業名	Protozoology				副担当	野呂瀬 一美	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【研究科共通_2024年度以前加付対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観				移植感染症学の研究者としての素養を身につける		
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				移植感染症学分野の深い知識と技能を身につける		
(2)詳細 /Detailed information	臓器移植時には免疫抑制剤の投与により、免疫力が低下している。そのため、健康人では病原性を示さない病原体による日和見感染症が発症しやすくなる。臓器移植の経過中に発症する日和見感染症を、レシビエント側の免疫不全、免疫異常状態および感染症を惹起する病原微生物側の両面から概説する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	ウイルス、細菌、真菌、原虫など病原体の分類ごとに、具体的な診断・治療法について講義する。						
(4)授業計画 /Course plan	(オムニバス方式) 教員未定 (20回) 移植感染症学概論、移植時の細菌、真菌感染症の診断と治療 野呂瀬一美 (10回) 移植時の寄生虫、ウイルス感染症の診断と治療						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	中間試験40点，期末試験60点 中間試験・期末試験は100点満点とし，それぞれ40点，60点満点に換算する。 合計が60点未満は不可とする。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	前週の授業内容の理解を問う小テストを授業冒頭に行う。それに備えるため、教材（英語論文）について復習しておくこと。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教員に直接連絡すること						
(8)授業の形式 /Course format	講義（スライド等併用）						